

## 1 - 6 素材

### (1) 素材

- ・伝統的な様式の建築物で形成された地区にあっては、周辺の建築物と同様の素材とする。ただし、これにより難しい場合はこれを模した素材とする。

景観区：すべて

#### 【解説】

建築物の外壁や塀などの外構部の素材は、建築物そのものの印象や周辺のまちなみ景観に大きな影響を与えるものです。

景観の構成要素には、自然や文化・歴史的要素、さらには「これからつくられるもの」も含まれます。「素材」も景観の一部として、長期にわたり役割を担うものであることから、長い年月や時間とともに変化することで景観と馴染む材料、長い期間、その性能や様相を保ち、維持する材料、さらに長い期間、材料の状態や性能を維持するためのメンテナンスが行える材料を選択することが重要です。

古くから用いられてきた石やレンガなどの外装材は、周辺景観への調和を図りやすいだけでなく、時間とともに味わいが生じ、長い期間にわたって良好な、風格の景観の形成に寄与する素材といえます。

特に歴史的な景観を有する地域では、古くから身近にある石や木、竹などの自然素材による建築物などが地域の景観を特徴づけています。

歴史的な景観を有する地域においては、原則として周辺の伝統的建築様式に応じた自然素材を用います。やむを得ず自然素材以外の素材を使用する場合は、その質感や色彩など、周辺の伝統的建築様式や背景となる景観（山並みなど）との調和に十分配慮します。

歴史的な景観を有する地域以外における建築物の外壁や塀などの外構部の素材は、周辺地域の景観特性や背景となる自然の色彩に配慮して選択することが望まれます。

また、反射ガラスや、光沢のある材料などの使用は原則として避けます。やむを得ず使用する場合は、周辺景観との調和に十分配慮します。

・周辺景観になじみ、かつ、耐久性及び耐候性に優れた素材を使用する。

景観区：☐すべて

**【解説】**

伝統的な様式の建築物で形成された地区以外においては、周辺の景観の特徴や印象に配慮して選択することが望まれます。

外壁に使用する素材は、建築物の形態・意匠だけでなく、周辺地域の景観特性や背景となる自然の色彩に配慮するとともに、石やレンガなどの時間とともに味わいが出てくる素材を使用することで、周辺景観への調和を図るだけでなく、長い期間にわたって良好な、風格のあるまちなみ景観の形成を図ります。

・できるかぎり石材、木材などの自然素材を用いる。ただし、これにより難しい場合はこれを模したものをを用いる。これらの素材を用いることができない場合は、周囲の緑化などにより周辺の景観を形成する素材と調和を図れるよう配慮する。

景観区：☐砂・☐山・☐田・☐河

**【解説】**

この基準の対象となる景観区において、その景観を形成している素材の多くは自然素材であることから、新たに建築物などを建てる場合においても、同様の自然素材を用いることを基本とします。

建築物の規模や部分により、やむを得ず自然素材などを使用することができない場合は、建築物などの周囲を積極的に修景緑化するなど、周辺の自然との調和を図ります。

外壁材を工夫する

周辺地域の景観を構成する建築物などの色合いや背景となる自然の色彩・素材感のものを使用します。

時間の経過とともに味わいが出る素材を使用する

耐久性及び耐候性に優れた、経年変化により景観に魅力と風格を与える素材により、長期間の景観の保全を図ります。



周辺の伝統的な建築物と同様の素材・様式を用いることで、歴史的まちなみを保全した例



地域を特徴づける石垣を維持・保全・活用することで歴史的まちなみを保全した例



石、板、土などの自然素材による塀などを連続させることで歴史的まちなみを保全した例



地域を特徴づける土塀を維持・保全・活用することで、歴史的まちなみを保全した例



背後の山並みに溶け込む、微妙な色合いの変化を持たせたタイルにより仕上げた例



外観にレンガを活用することで、時間の経過とともに建築物に味わいを持たせ、まちなみに歴史性や風格を与えている例

## (2) 使用を避ける素材

- ・冷たさを感じさせる素材または反射光のある素材を壁面などの大部分にわたって使用することは避ける。

景観区：集・砂・山・冨・河

### 【解説】

反射ガラスやアルミやステンレスなどの金属など、その他光沢のある材料などの素材は、自然地や集落地の落ち着いた雰囲気になじみにくく、景観印象を減殺させる恐れがあるため、壁面などの大部分にわたって使用することを避けます。